

平成 29 年度事業報告

1. 航空保安研究センターは、安全かつ効率的な航空交通を実現するための航空保安業務に関する調査研究を行い、その成果を航空保安業務の改善、向上に役立て、航空交通の発展に寄与することを目的としており、この目的を達成するため、次のような事業を行っています。

- (1) 航空交通情報受配信業務
- (2) 飛行コース公開システム関連
- (3) 調査研究事業

2. 平成 29 年度（平成 29 年 5 月 1 日～平成 30 年 4 月 30 日）においては、以下の事業等を行いました。

- (1) 航空交通情報受配信事業
- (2) 飛行コース監視・航跡公開システム運用等業務（成田国際空港）
- (3) 管制レーダー情報管理等業務（成田国際空港）
- (4) 飛行コース公開システムに係るデータ編集作業（東京国際空港）
- (5) 航空安全プログラムの適用に伴う安全情報（自発報告）分析業務
- (6) 松山空港航空機騒音・飛行経路・地上運用実態調査
- (7) 高松空港航空機騒音・飛行経路・地上運用実態調査
- (8) 平成 29 年度疲労リスク管理システム導入に係る要件調査
- (9) 飛行場管制業務の効率化に向けた要件調査
- (10) 空港周辺における乱気流実測とモデル化に関する調査
- (11) 首都圏空港機能強化時における東京都心上空の小型航空機（VFR 機）と羽田到着機（IFR 機）との分離手法に関する調査（平成 29 年度）
- (12) 平成 29 年度運航効率の業務指標作成に係るデータ計測調査
- (13) Topic Room 運用業務請負